



小金井市議会議員

小金井市

2017年9月14日

村山ひでき

市政レポート

ひとをつなぐ まちをつくる

一般質問にて『市制60周年記念事業』『投票率アップ施策』を提案

9月27日(水)より 決算特別委員会 村山ひできが決算特別委員会の委員長に就任



9月5日、第3回定例会にて一般質問を行いました。今回のテーマは①市制60周年記念事業への取り組み状況、②選挙の投票率アップのための施策の拡充、の2つ。

市制60周年記念事業の取組状況については、来年10月1日に小金井市は市制60周年を迎えます。あと約1年ですが市民と行政が一体となって取り組む記念事業の開催を求めました。特に、市民提案による地域活性化、昨年度から始まった市民協働提案事業の拡大と、功労者表彰、名誉市民の選定も進めてほしいと要望しました。

投票率アップのための施策の拡充として、今年から東小金井マロンホールでの期日前投票が可能になりましたが、さらに市内の大型商業施設での期日前投票所の設置を求めました。青少年への選挙啓発の一環として高校生や大学生の選挙関連事務への参加を検討するよう主張しました。

これらの質問の様子はYouTubeでもご覧いただけます。「小金井市議会 YouTube」で検索し「本会議 H29.9.5 15:30-16:58」を探してください。村山の登場は約34分後です。

市議会改革について3項目を提案

8月28日に開催された閉会中の議会運営委員会にて、より良い議会を目指し各会派から40項目もの議会改革の提案があり、村山ひできも小金井市議会民進党を代表して以下の3項目を提案しました。

① 予算・決算特別委員会における議員からの資料要求を事前の文書による通告とする

議会は施策の内容を深く理解するため資料の作成を要求できます。現状では、議案説明のあと本会議にて議員個人が口頭で要求しています。かつて一人の議員が数十項目もの資料を要求したこともあり、他市と比較しても膨大すぎる要求数は市職員に過度な負担をかけています。事前の文書通告制にすれば、議員も要求を整理するはずで

② 予算・特別委員会の質問時間は一区分につき一時間以内を目途とする

現状では時間無制限で何項目でも質問することができるため合計で8時間以上も質問する議員も存在します。質問する権利は大切ですが、いくらなんでもやりすぎ。これでは議会の時間が足りなくなるは当然で深夜議会の原因にもなっています。深夜議会の職員への残業代、交通費の支給、光熱水費も馬鹿になりません。一般会計の歳出に対する質疑は4区分で行いますが、一区分につき議員一人の質問時間は一時間以内の持ち時間制にします。

③ 各常任委員会への所管事項の審査時における理事者の退席措置

議員は常任委員会で関心のあるテーマについて質問することができ、これを所管事項の審査と呼びます。現状では市長、副市長、教育長の理事者が答弁する必要がなくても委員会室にいなければならない、本来ならば市民のために使える貴重な執務時間を削っています。本来の業務をこなしてもらうため所管事項の時間は退席できるようにします。

北朝鮮の弾道ミサイル発射および核実験に抗議

小金井市は8月30日と9月5日の二回にわたり北朝鮮へ抗議文を送付しました。小金井市議会も9月7日の本会議にて下記の抗議文を全会一致(全議員の賛成)で決議しましたので、ご一読ください。

朝鮮民主主義人民共和国の弾道ミサイル発射及び核実験に抗議し、政府に対して適切な対応を求める決議

朝鮮民主主義人民共和国(以下「北朝鮮」という。)は、8月29日午前5時58分頃、弾道ミサイルの発射を行い、発射された弾道ミサイルは北海道の襟裳岬の東約1,180キロメートルの太平洋上に落下したと推定される。

弾道ミサイルは、日本の上空をまたぎ約2,700キロメートルを飛翔しており、仮にミサイルの一部でも領土内に落下したならば、甚大な被害が生じていたことは想像に難くない。それにとどまらず、現在、我が国では一日3,000機を超える民間航空機の発着と、洋上における数え切れない船舶の航行があり、その全てが危険に晒されたこととなる。

さらに、9月3日には6回目となる核実験を実施したものと見られ、朝鮮中央テレビは大陸間弾道ミサイル(ICBM)搭載用の水爆実験に「完全に成功した」と報じた。今回の核実験の実施は、関連する国連安全保障理事会決議を始め、日朝平壤宣言、六者会合共同声明への度重なる明白な違反であり、核兵器不拡散条約(NPT)を中心とする国際的な軍縮・不拡散体制に対する重大な挑戦と言わざるを得ない。

北朝鮮が、今年に入って大量破壊兵器の運搬手段となり得る弾道ミサイル発射を13回行い、その能力を増強していること、核実験を繰り返していることを踏まえれば、北朝鮮のミサイル及び核開発は、地域及び国際社会の平和と安全を著しく損なうものである。軍事的な緊張がエスカレートすれば、当事者たちの意図にも反して、偶発的な事態や誤算などによって軍事衝突が引き起こされる可能性が強まる。

国会は、9月5日、衆議院外務委員会と参議院外交防衛委員会で閉会中審査を行い、北朝鮮に対して、朝鮮半島の非核化に向けた具体的行動を強く要求し、国際社会における国連安全保障理事会決議に基づく制裁措置の完全履行と、より強力な決議の採択を要請する決議を、それぞれ全会一致で採択した。

よって、小金井市議会は、今回の北朝鮮の行動に対し厳重に抗議するとともに、政府に対し、以下の事項を求めるものである。

- 1 対話によって軍事衝突を避けるべく、関連する国連安全保障理事会決議を即時かつ完全に履行させるための政治的・外交的努力を抜本的に強めること。
- 2 我が国の平和と安全、国民の安心・安全の確保のため、今後の北朝鮮及び国際社会の動向を含む情報収集及び分析を一層強化し、国民に対して正確な情報提供を行うこと。

以上、決議する。

小金井イベント情報

第50回 小金井お月見のつどい

日時：2017年9月30日(土) & 10月1日(日)

AM11:00~20:30(日曜日は20時終了)

会場：都立小金井公園 江戸東京たてもの園前広場

※ ゴミ箱の設置なし(ごみ持ち帰り)

今年で50回を迎えた観光まちづくり協会が主催する大人から子どもまで楽しめるイベントです。

謎解きクイズラリー、熱気球搭乗体験(10月1日のみ)、天体観測、丸太切り体験など盛りだくさん! 月夜の晩に素敵な思い出を作りませんか?

お誘いあわせのうえ是非ご来場ください。



村山ひできプロフィール

- 1971年 新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ
- 1990年 新潟県立長岡高等学校 卒業
- 1995年 明治大学政治経済学部 卒業
～衆議院議員(岩國哲人・城島正光) 秘書
- 2005年 小金井市議会議員選挙に初当選
- 2013年 落選
～(株)ジェイコム東京に入社し会社員として勤務
- 2016年 復帰を決意し(株)ジェイコム東京を退職
- 2017年 再び小金井市議会へ
現在、建設環境委員会の委員長を務める

《主な地域活動》

- 小金井阿波おどり振興協議会 専務理事
- 小金井新能 理事・警備委員長
- 小金井市献血推進協議会 事務局長
- 小金井市トライアスロン連合 事務局長
- 子ども達を被害から守る実行委員会 事務局
- 名勝 小金井桜の会 会員
- 明治大学校友会小金井地域支部 幹事
- 小金井青年会議所シニアクラブ 会員
- はげの自然を大切にする会 会員
- 東京小金井ロータリークラブ 会員

村山ひでき事務所

〒184-0004
小金井市本町6-13-17
サンライズ武蔵小金井702
TEL 042-386-5543
FAX 042-386-5560
携帯 090-3428-2715

Eメール

hideki@murayama.tv

WEBサイト

<http://www.murayama.tv>

Twitter

@Murayama_Hideki

Facebook

<https://www.facebook.com/m/hideki.murayama.52>